

セッション4 分科会2 企業がめざす地域におけるSDGs

100ねんあそぼ。
おもちゃからはじめる次世代教育

2019年12月21日
ESD推進ネットワーク全国フォーラム2019

株式会社タカラトミー
高林 慎享

会社概要

- 1924年創業 創業95周年の長い歴史を持つ

- 経営理念

われらの優良な商品で
世界の市場をにぎわせよう

誠意と努力は他を益し
自己の幸福の基となる

- 主な事業内容

- ✓ 玩具事業：玩具と乳幼児製品の企画、開発および製造
- ✓ 玩具周辺事業：カプセル玩具、玩具菓子、鉄道模型などの製造および販売

- 東京証券取引所1部上場

- ✓ 時価総額：1,099億円（2019年3月末）

- 連結従業員数

- ✓ 2,665名（2019年3月末）

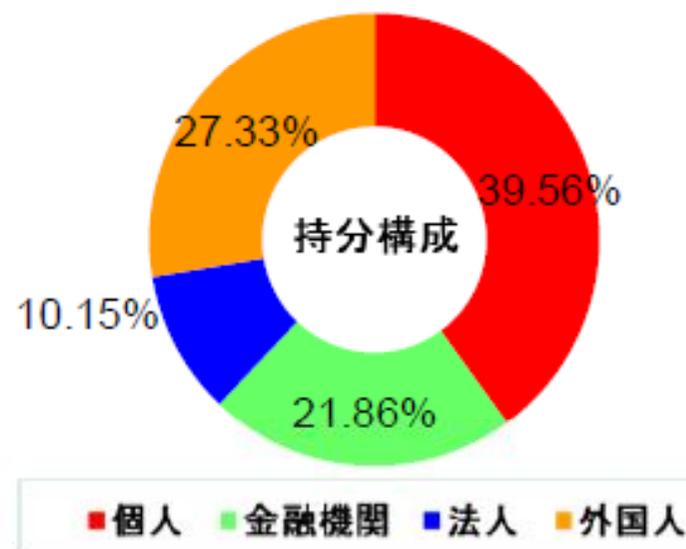
グループ会社

2019年3月31日現在

日本	タカラトミーアーツ トミーテック タカラトミーマーケティング、他	連結子会社 33社
欧米豪	TOMY Holdings TOMY International、他	
アジア	TOMY Hong Kong TOMY Thailand、他	

株主構成

2019年3月31日現在



タカラトミーグループCSRの骨子

2024年に迎える創業100周年、さらにはその先の社会を見据えて、CSRのあるべき姿「世界中の子どもたちと友だちになる」と、その実現のためのアプローチをまとめた“タカラトミーグループCSRの骨子”を策定しました。

事業活動を通じて社会に貢献していくうえでの考え方を、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」を参考にして整理しています。



「誰もが楽しめるおもちゃづくり」で
「世の中のためになる企業経営を」



- 共生社会の形成
- 地球への配慮

4 質の高い教育を
みんなに



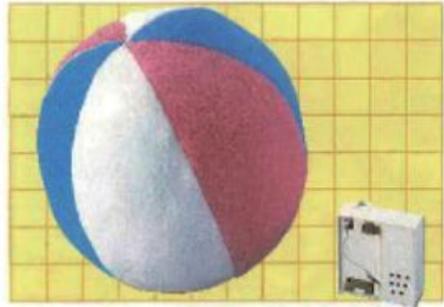
12 つくる責任
つかう責任



共生社会の形成

1980年

「ハンディキャップトイ研究所の設立」



障害者専用の玩具を開発

1990年

きょうゆうがんど

共遊玩具の誕生

障害のある子もない子も共に遊べる(ユニバーサルデザイン)の玩具

業界全体への広がり



現在

おもちゃを通じて障害者理解を促進し、共生社会を形成するため様々な「啓発活動」を実施しつづけています。

共遊玩具（きょうゆうがんぐ）活動



かつどう
活動コンセプト



おもちゃで^{ひろ}広げる、^{こころ}心のバリアフリー

「誰もが楽しめるおもちゃづくり」で「世の中のためになる経営」を。
創業者・富山栄市郎が遺した言葉が私たちの活動の原点です。

タカラトミーのおもちゃで一度遊んでみてください。
障害のあるなしに関わらず、共に遊べる配慮が
いろいろなところに工夫されています。

違いを超え、個性を尊重し、共に遊ぶ楽しさを経験した子どもたちは、
皆が共に生きられる社会をつくる大人へと成長してくれると
私たちは信じています。

100ねんあそぼ。



Concept コンセプト

タカラトミーグループはおもちゃで
夢をカタチにし続けてきました。

でも資源が少なくなり、このまま地球の環境が
悪化すると、おもちゃが作れなくなるかもしれません。
これは、おもちゃで遊ぶ子どもたちと
タカラトミーグループとに共通する重要な課題です。

100年先の未来でも美しい地球で、
楽しいおもちゃでみんなが笑顔になるように

「100ねんあそぼ。」をコンセプトに
環境活動に取り組んでいます。

エコトイ事例 プラレールのエコレール



環境配慮した
おもちゃ

包装用のふくろをつくる時に出る透明のシートの捨てる部分を使います。



あまった部分を再利用!



① ゴミになるものを
再利用→リサイクル



② 使う石油の量が
いままでの**半分**!

エコレールには
2つのエコ!



エコイ活動 子供たちが環境を知るきっかけづくり

環境省主催「Re-Style FES! 2019 in 幕張」 が開催されました！

2019年10月26日(土)、27日(日)

今年も、環境とエンターテインメントの祭典 **Re-Style FES!** が、イオンモール幕張新都心で開催されました。タカラトミーは、**Re-Styleパートナー企業**として、今年もブースを出展しました。再生材を配合したプラレール「**エコレール**」などの「**Re-Style商品**」や、最新のエコなおもちゃで、多くのお子様にご遊んでいただきました。

また、石原宏高環境副大臣がご視察され、環境配慮のおもちゃをご紹介させていただきました。

グランドスクエアのステージでは、「**環境大臣杯Re-Style DANCE CUP**」全国大会や、たくさんのパフォーマンスで会場が大盛況でした。楽しみながら**3R**などの環境を体験する2日間になりました。



Re-Style

限りある資源を未来につなぐ。
今、僕らにできること。



パートナー企業

エコイ活動 子供たちの環境活動を応援

ほめる



一般社団法人 地球温暖化防止全国ネット
Japan Network for Climate Change Actions



歴代の「最優秀次世代賞」

2019年 受賞



おやこエコクラブ

品川区立山中小学校 おやこエコクラブ 様

市街地に位置した小学校を活動拠点としているため、校舎壁面・屋上緑化を利用した四季折々の野菜栽培、街中の生き物観察、学校周辺地域の美化・緑化、地球環境を考える学習・実験、地域の歴史・文化を学ぶプログラムを行っています。通年での野菜・花の栽培と共に、それらを楽しく学ぶイベントをほぼ毎月開催しています。またPTA活動と連携し、アルミ缶やペットボトルキャップ回収など、リサイクル活動を行っています。

詳しくはこちら

- ◆壁新聞部門 表彰状+副賞
環境大臣賞、文部科学大臣賞、消費者庁長官賞、日本環境協会賞、エコマーク賞、タカラトミー賞、エコまる賞（幼児クラブ）他、企業・団体等による特別賞

エコイ活動 地域と連携した年間を通じた取組

葛飾区地球温暖化対策地域協議会は2010年から参加

温暖化防止に向けた普及・啓発事業などを行っています。メンバーは、区民・事業者・各団体・学識者・区などによって構成されています。



夏休み子ども環境学習講座



打ち水大作戦 区長も参加し今年で10回目



緑化フェア



おもちやアイデアコンクール
(学校)エコイ賞-/UD賞



葛飾区主催かえっこバザール

累計 **75,000人** の子どもたちのエコへの気づきをお手伝い

外部評価

活動をはじめて
15の賞を受賞

おもちゃメーカー・タカラトミーの役割、
子どもたちへの教育サポートの再認識

タカラトミーの教育プログラム

環境



主体的な環境学習

おもちゃの環境に関する配慮についての話しを聞き主体的に環境を考える機会を提供します。

共生社会



共生社会を知る

おもちゃのUDである共遊玩具を通じて、障害者への配慮や共生社会について学びを提供します。

職業観



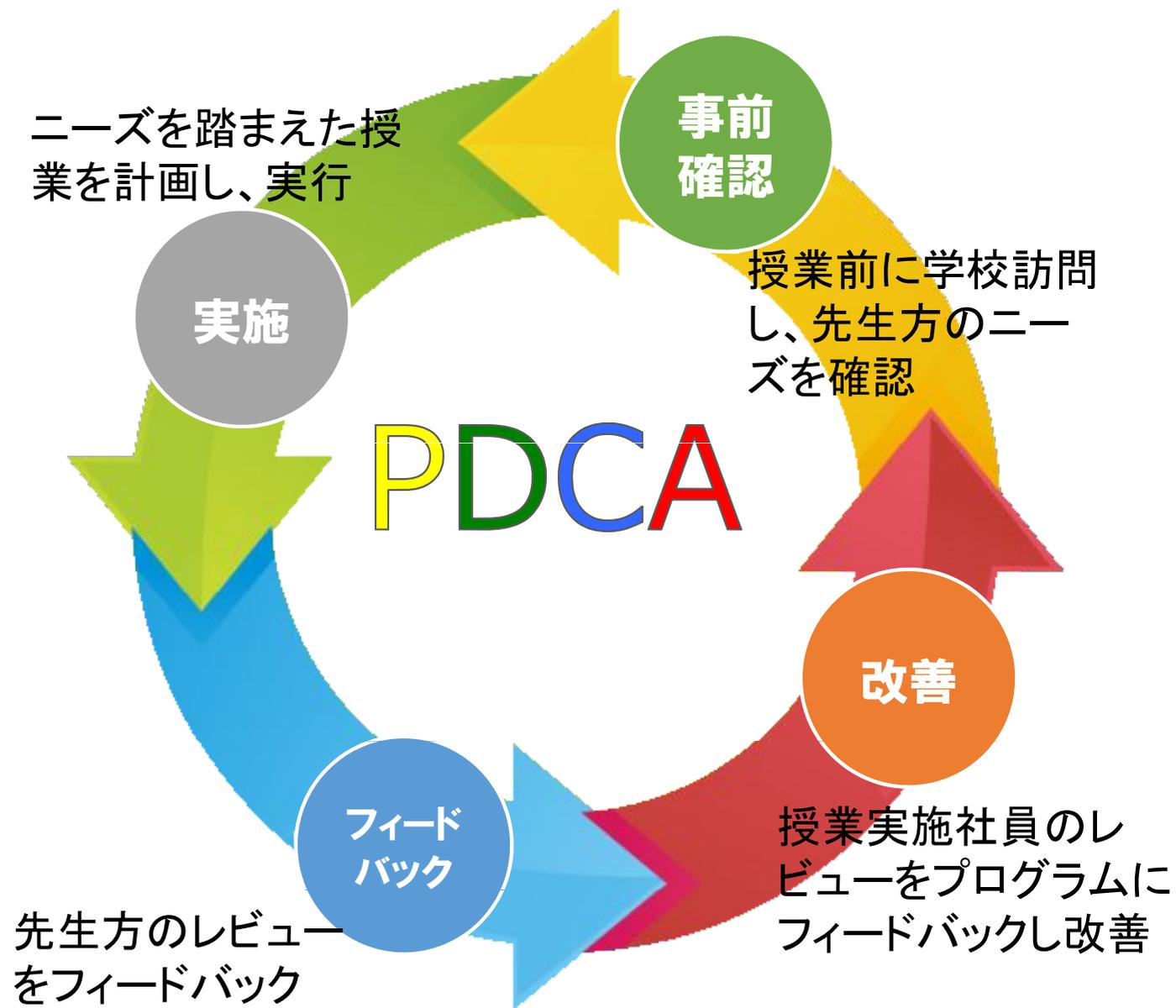
職業観形成

おもちゃづくり、社会活動に触れることで子どもたちがより主観的に将来を考える機会を提供します。

おもちゃは子ども達に身近であり、自分の身近な課題解決が社会課題につながることを理解する

持続発展可能なPDCAモデル授業

毎授業PDCAを回し、次の授業をより良く、次年度の授業をより良くする仕組みづくりを構築し授業に取り組んでいます。





出張授業

2018年から、葛飾区との地域連携により
区内すべての小学校 50校で出張授業スタート

- ・対象 3～6年生
- ・講師は、グループ新入社員+社会活動推進課

共に育む教育活動

葛飾区



TAKARA TOMY

- ・地域に親しみがある会社との連携による教育の場の拡大
- ・学校以外の大人の話聞くことで社会の多様性を知る機会へ
- ・子どもの生活に身近な玩具から学ぶ、3Rや共生社会プログラムにより自分事としてとらえる
- ・本物に触れることで主体的に考える機会へ
- ・社会貢献部門だけではなく人事・新入社員など全社横断的な取り組み体制構築
- ・授業実施からフィードバックまでPDCAサイクルを意識した構築
- ・新入社員教育の一環としての取り組み(グループ)
- ・新入社員がより深く企業文化を理解する機会の提供

「玩具を通じた
環境・共生社会教育」

「授業を通じた社員教育」

「共育」



出張授業を経験することで社会活動に対する意識の向上

自らもエコや共生社会について一層の知識習得

「創業理念」「企業理念」についてより深い理解・実感



子どもたちからの感想

今だけでなく未来を考えていてすごい！これからはマーク（エコトイや共遊玩具）がついた玩具に注目したい。

これから3Rを意識して生活する。
（行動変容）

捨てずに他の使っている子に譲る。
（行動変容）

今日教えてもらったことをお家の人にも伝えたい。大人になったら自分が伝えたい。

僕もタカラトミーで働きたい。
（職業観醸成）

人のためになる仕事につきたい。
（職業観醸成）

社会が変わるきっかけを生む「共育」

新入社員

入社理由、
夢を語る機会

子どもに伝えるため
感情と認知を高めた
社員が授業実施

楽しんで主体性をもって授業を受けた子ども達に変化が…
感情が引き金になって行動するきっかけになるチャンス

エコ
共生社会
の理解

玩具の
工夫への
理解

行動
変容

職業観
醸成

ESD活動支援センター様と取り組むきっかけ

タカラトミーの課題

全国的な活動ができない・・・支店がない
沢山の場所で活動ができない・・・マンパワーがない

地域の主体的な活動団体や学校との連携拡大の模索

2019年から ESD活動支援センター様と連携

ご希望は
センター様
まで

展示会やイベントへの
展示ツールの貸出し

出張授業用プログラム
や教材の貸出し

展示会やイベントへのツールの貸出し

すでに
実例あり

子どもや親御様に向けて、身近でわかりやすいおもちゃから、環境配慮や共生社会を知っていただく機会となります。

環境配慮のおもちゃ(エコトイ)・・・再生材を使用したプラレールのレールや発電する車両など共生社会(共遊玩具)・・・目や耳の不自由な人もいっしょに楽しめる工夫をしたおもちゃ

内容) 「エコトイ」「共遊玩具」のおもちゃ
壁掛けパネルや卓上POPなど配慮点を紹介するパネル
ご希望により、エコかるたなど配布物



エコトイ <https://www.takaratomy.co.jp/eco/>

© TOMY

共遊玩具 <https://www.takaratomy.co.jp/products/kyouyu/>

プレイコーナー用のツールの貸出し

すでに
実例あり

親子向けの長時間滞在コーナーとしてとても有効なスペースになります。
子どもたちはエコなおもちゃで遊び、親御様はパネル等で、配慮点を知る機会となります。

内容) エコなプラレールの遊び場用のおもちゃ
展示物)エコを説明するパネル(バナー)



出張授業用プログラムや教材の貸出し

2020年1月
から実施

各エリアで実施される授業や講演のプログラムとして使用できることを目指し、当社の出張授業プログラムの提供及び、教材の提供・貸出し



https://www.takaratomy.co.jp/eco/educational_csr/

創業者から伝わる言葉の中におもちゃ産業が栄える4つの条件があります。

1. 教育に熱心であること
2. 科学産業が発展していること
3. よい文化があること
4. 平和であること

